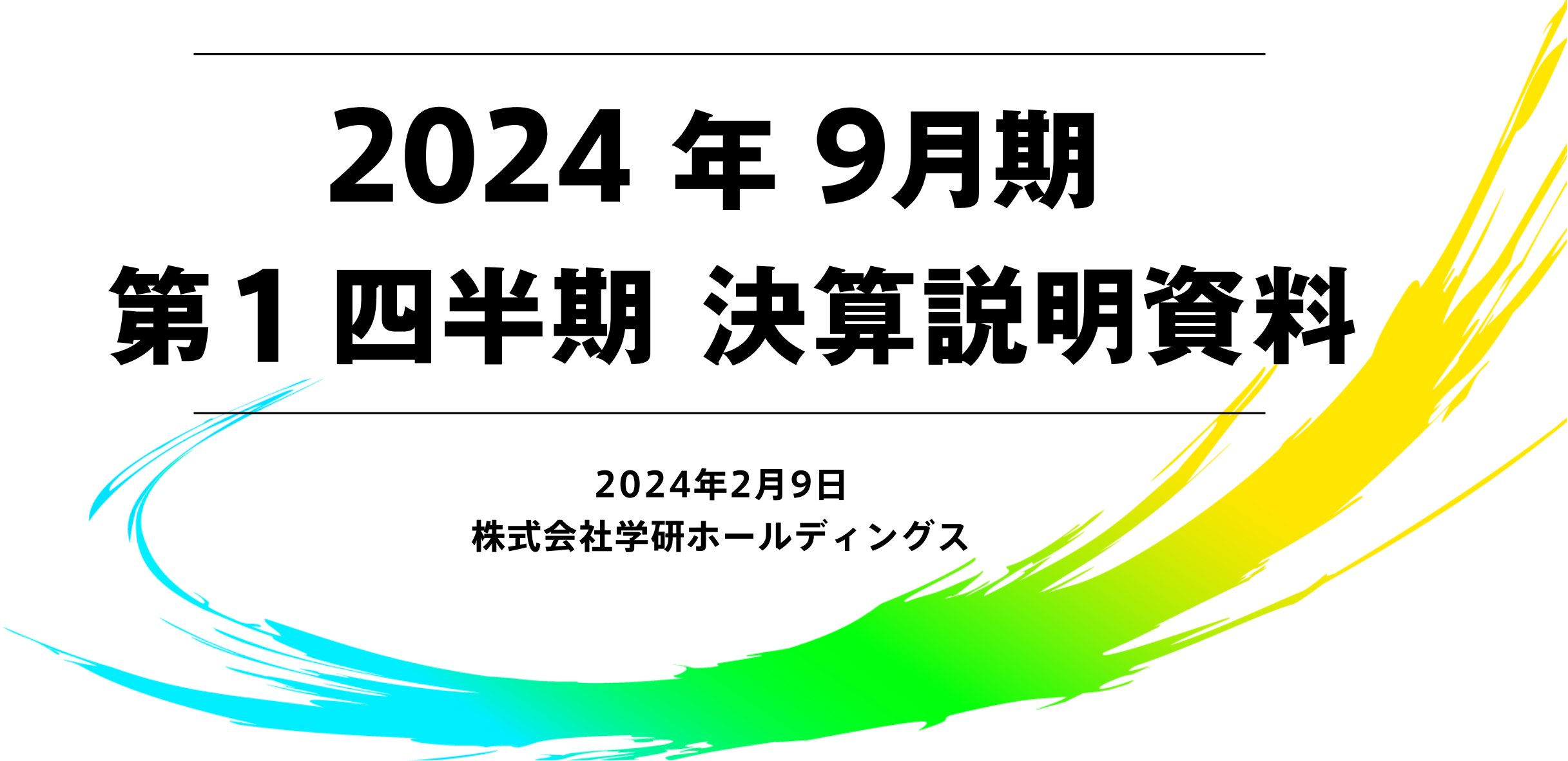


---

# 2024 年 9 月期 第 1 四半期 決算説明資料

---

2024年2月9日  
株式会社学研ホールディングス



# INDEX

---

<b>2024年9月期</b>	<b>第1 四半期決算概要</b>	<b>…… P.04</b>
<b>教育分野</b>	<b>決算</b>	<b>…… P.09</b>
<b>医療福祉分野</b>	<b>決算</b>	<b>…… P.14</b>
<b>決算補足資料</b>		<b>…… P.16</b>

# 2024年9月期 第1四半期決算 エグゼクティブサマリー

※単位未満は四捨五入です。

売上高

**427.5** 億円

前期比 +11.9% ↗

営業利益

**8.4** 億円

前期比 +38.3% ↗

経常利益

**10.3** 億円

前期比 +78.9% ↗

四半期純損失

**0.4** 億円

前期比 2.7億円減 ↘

- ・ 連結売上高：医療福祉分野の成長と、(株)市進ホールディングスの連結化等により前年同期比11.9%の増収
- ・ 営業利益：教室事業、園・学校事業は低調ながらも出版事業に回復の兆し  
好調な医療福祉分野や語学・社会人教育事業の貢献により同38.3%の増益
- ・ 経常利益：営業利益増、持分法適用会社の利益取り込みに伴い同78.9%の増益
- ・ 四半期純損失：JPホールディングス株式譲渡に伴う投資の売却損（10.7億円）により純損失で着地

# 2024年9月期 第1四半期 決算概要

---

# 2024年9月期 第1四半期決算 連結業績サマリー

※単位未満は四捨五入です。

## 売上高

**427.5** 億円  
前年同期比  
**+11.9%** ↑

医療福祉の好調と(株)市進ホールディングスの連結化により増収

## 営業利益

**8.4** 億円  
前年同期比  
**+38.3%** ↑

医療福祉分野、語学・社会人教育事業が寄与

## 経常利益

**10.3** 億円  
前年同期比  
**+78.9%** ↑

営業利益増および持分法適用関連会社の利益取り込みにより増益

## EBITDA<sup>※</sup>

**17.7** 億円  
前年同期比  
**+33.0%** ↑

営業利益増に伴い増加

## 四半期純損失<sup>※</sup>

**0.4** 億円  
前年同期比  
**-2.7億** ↓

JPホールディングス株式譲渡に伴う投資の売却損が主因

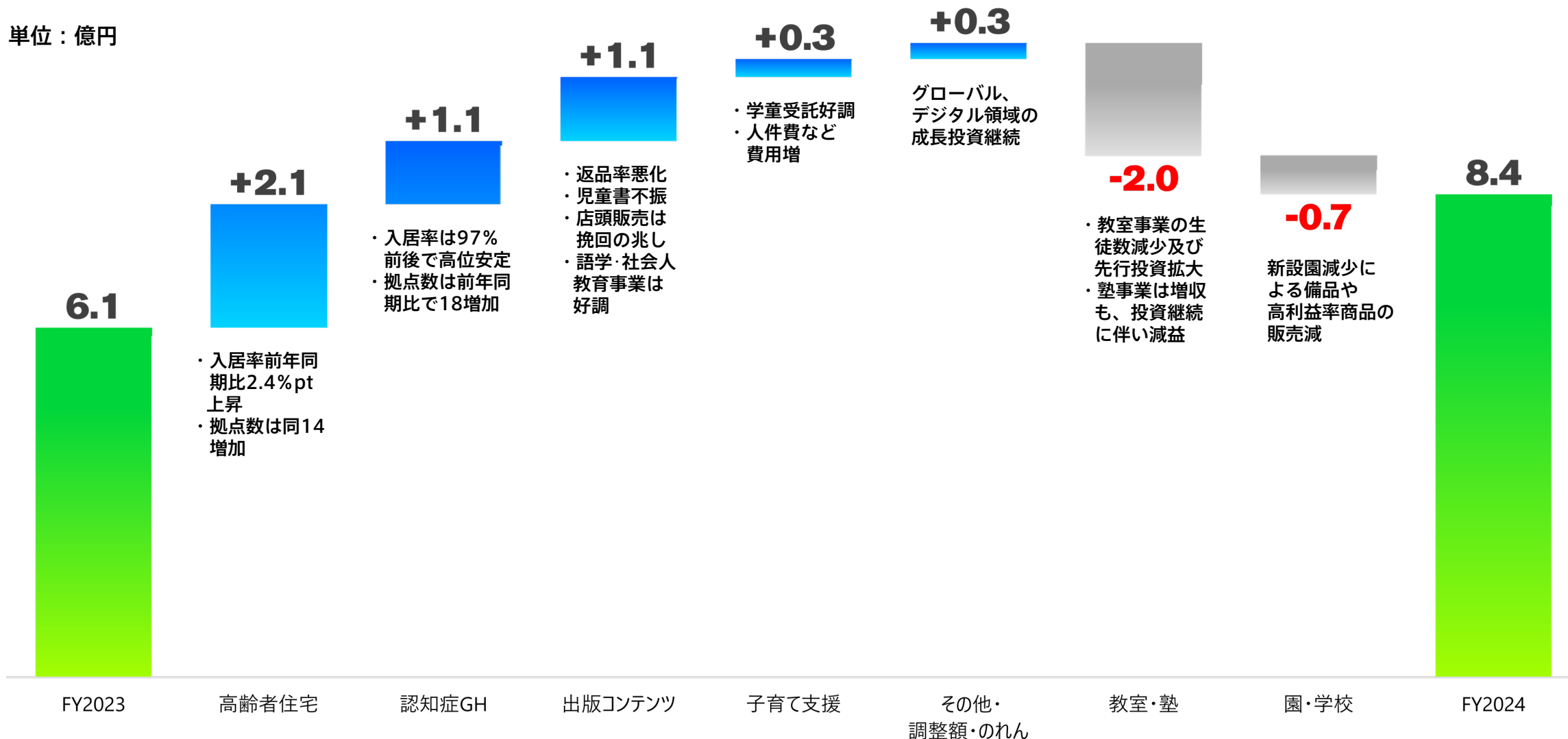
※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算

※親会社株主に帰属する四半期純損失

# 営業利益 増減分析

医療福祉分野3事業が増益に寄与。教育分野は教室事業および幼保園向け物販が低調も、出版事業は回復の兆し

単位：億円



※単位未満は四捨五入です。

# 2024年9月期 第1四半期セグメント別業績サマリー

単位：億円

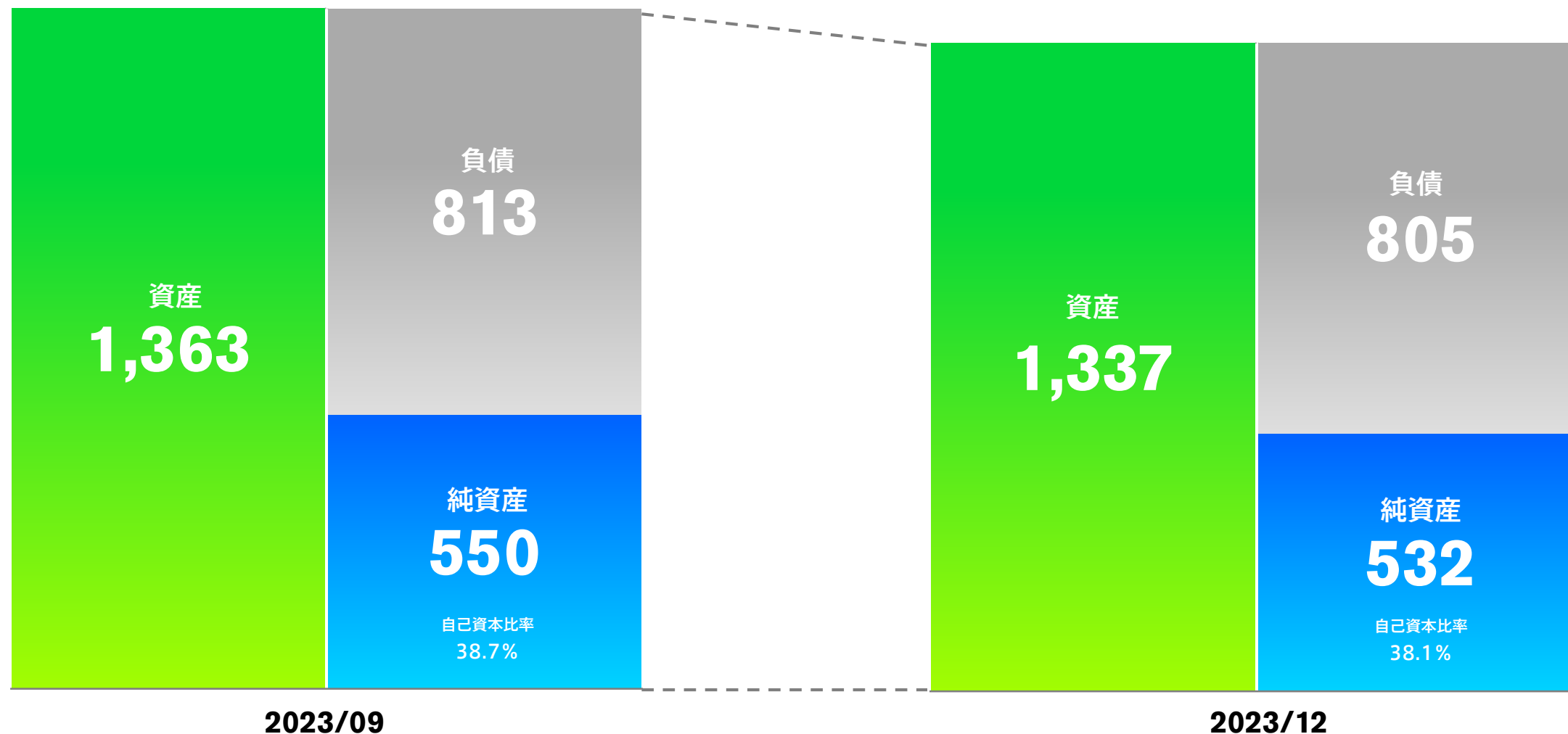
セグメント	事業	FY2023 1Q実績		FY2024 1Q実績		増減 (対前期)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
教育分野		177.2	3.0	206.7	0.9	+29.5	-2.2
	教室・塾	81.5	1.8	121.1	-0.2	+39.6	-2.0
	出版コンテンツ	63.9	2.3	57.5	3.5	-6.4	+1.1
	園・学校	31.7	-0.7	28.1	-1.3	-3.7	-0.7
	のれん	—	-0.4	—	-1.1	—	-0.6
医療福祉分野		190.0	6.4	204.6	9.9	+14.5	+3.5
	高齢者住宅	86.9	1.8	95.9	3.9	+9.0	+2.1
	認知症グループホーム	88.4	5.5	92.4	6.6	+4.0	+1.1
	子育て支援	14.8	0.3	16.2	0.6	+1.5	+0.3
	のれん	—	-1.2	—	-1.2	—	-0.0
その他		14.8	1.5	16.2	1.4	+1.4	-0.1
調整額		—	-4.9	—	-3.9	—	+1.0
グループ合計		382.1	6.1	427.5	8.4	+45.4	+2.3

※単位未満は四捨五入のため、合計値が合わない箇所があります。

# 連結財政状態

自己資本比率は健全な水準を維持

単位：億円



※単位未満は四捨五入です。



# 教育分野 決算

---

幅広く子どもたちの学習を支援する3事業を展開。社会人向けのサービスも拡充しています。

- 1)教室・塾事業…………… 日常学習を支援する幼児教室・学研教室に加え、各地で進学塾を運営
- 2)出版コンテンツ事業… 児童書、学習参考書等の出版物や、eラーニング等の制作・販売
- 3)園・学校事業…………… 幼保園等への物販や教科書・学校向け教材の制作・販売

# 教育分野 サブセグメント及び事業構成の見直し

旧：FY2023以前

新：FY2024以降

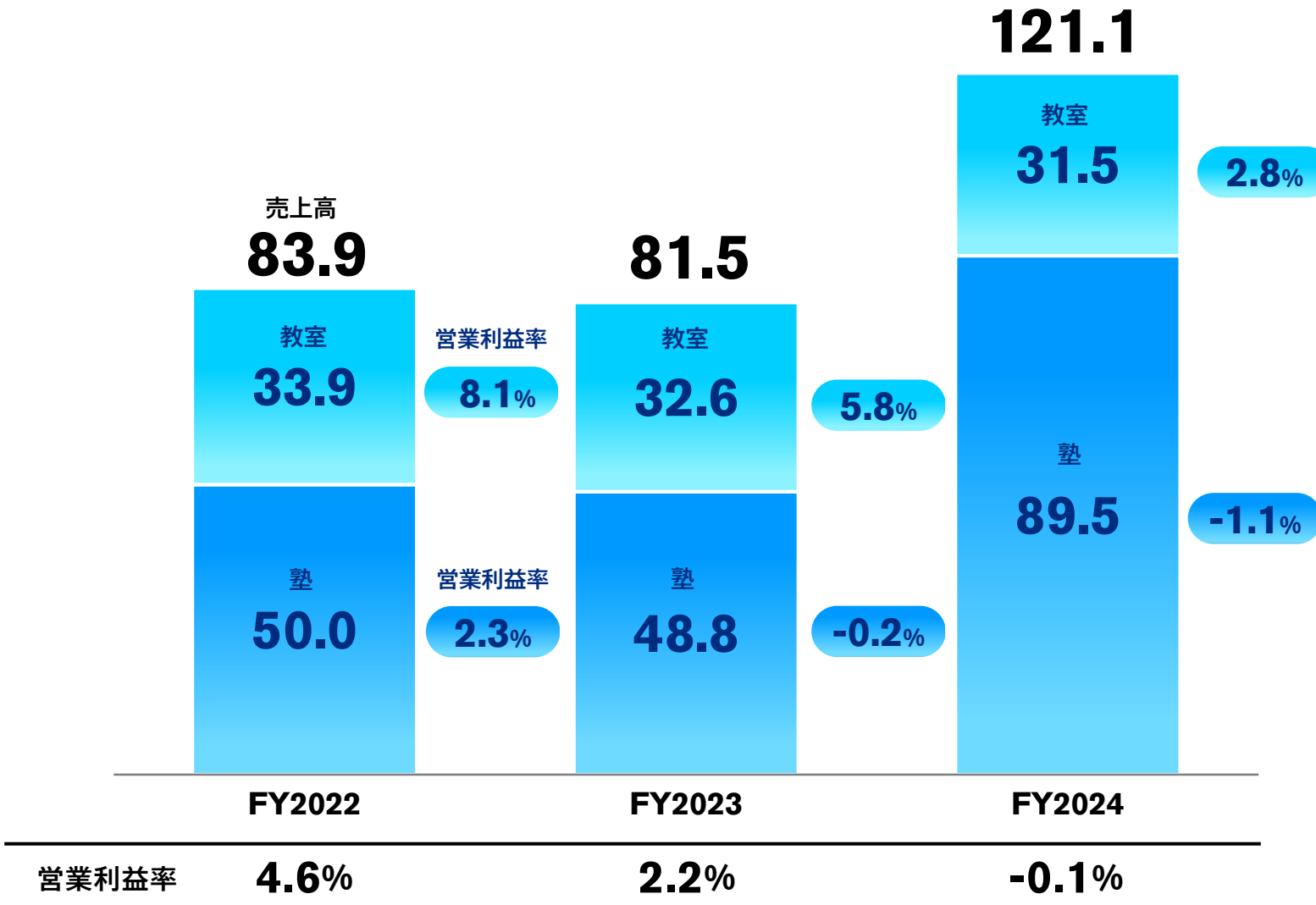
セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教室・学研教室事業</li> <li>・ 教室向けデジタルサービス運営</li> </ul>
	塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塾運営事業</li> <li>・ ViSC運営</li> </ul>
出版コンテンツ	出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか)</li> <li>・ 塾向け出版事業</li> </ul>
	出版以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験型英語施設運営</li> <li>・ オンライン英会話事業</li> <li>・ (株)学研ステイフル 知育玩具事業 →FY2023 4Qより持分法適用関連会社に変更</li> </ul>
	医学看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門書出版事業 (医書・看護書)</li> <li>・ 看護師eラーニング事業</li> </ul>
園・学校	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園向け物販事業</li> </ul>
	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中教科書事業</li> <li>・ 高校向け小論添削事業</li> <li>・ その他学校向けサービス各種</li> </ul>
	社会人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業向け研修事業</li> </ul>

セグメント	サブセグメント	主な事業
教室・塾	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児教室・学研教室事業</li> <li>・ 教室向けデジタルサービス運営</li> </ul>
	塾	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塾運営事業</li> <li>・ ViSC運営</li> <li>・ (株)市進ホールディングスの 介護サービス事業*</li> <li>・ 塾向け出版事業</li> </ul>
出版コンテンツ	出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般出版事業 (児童書・学参書・実用書・地図ガイドほか)</li> <li>・ 専門書出版事業 (医書・看護書)</li> </ul>
	語学・ 社会人教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護師eラーニング事業</li> <li>・ オンライン英会話事業</li> <li>・ 体験型英語施設運営</li> <li>・ 企業向け研修事業</li> </ul>
園・学校	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園向け物販事業</li> </ul>
	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小・中教科書事業</li> <li>・ 高校向け小論添削事業</li> <li>・ その他学校向けサービス各種</li> </ul>

※ 医療福祉分野 認知症グループホーム事業から移管しました。

# 教室・塾事業※ 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・(株)市進ホールディングスの連結化に伴い増収
- ・オンライン国語指導サービス「ことばパーク」の会員数が着実に伸張
- ・冬期講習の外部受講者数が前期比で約10%増加

## ネガティブ要素

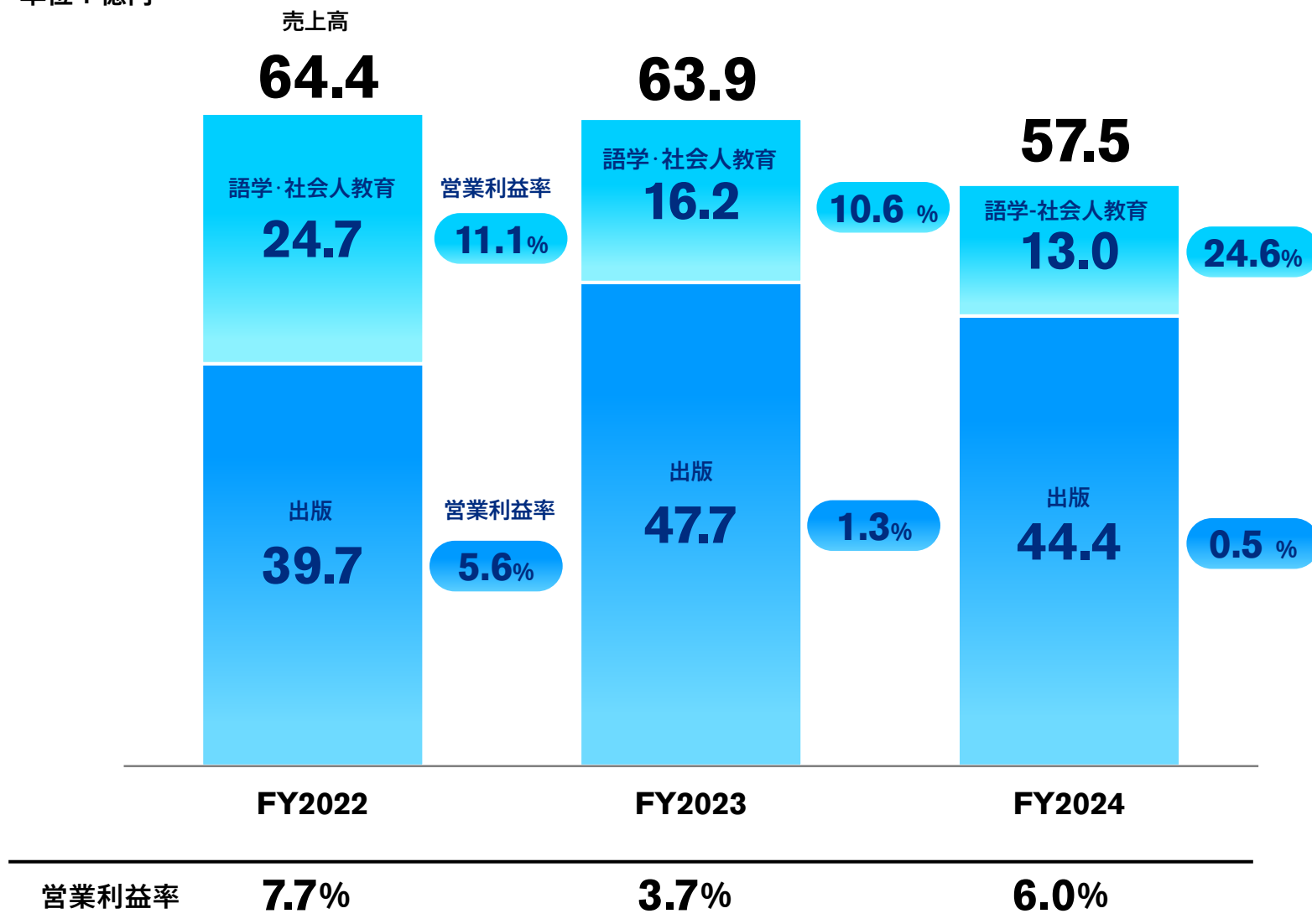
- ・物価高影響のため、家計における教育費は2年連続で減少  
2023年は前年比で実質9.8%減※
- ・学研教室・幼児教室会員数が減少傾向

※塾事業は(株)市進ホールディングスの2024年2月期第3四半期(9-11月)の業績を取り込んでいます。  
※単位未満は切り捨てです。

※総務省家計調査2024年2月6日発表資料より

# 出版コンテンツ事業 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・「地球の歩き方」や「大人の科学」シリーズでヒット作
- ・看護師eラーニング事業の業績順調
- ・オンライン英会話事業好調
- ・「最強王」1月のアニメ放映開始を前に送品増

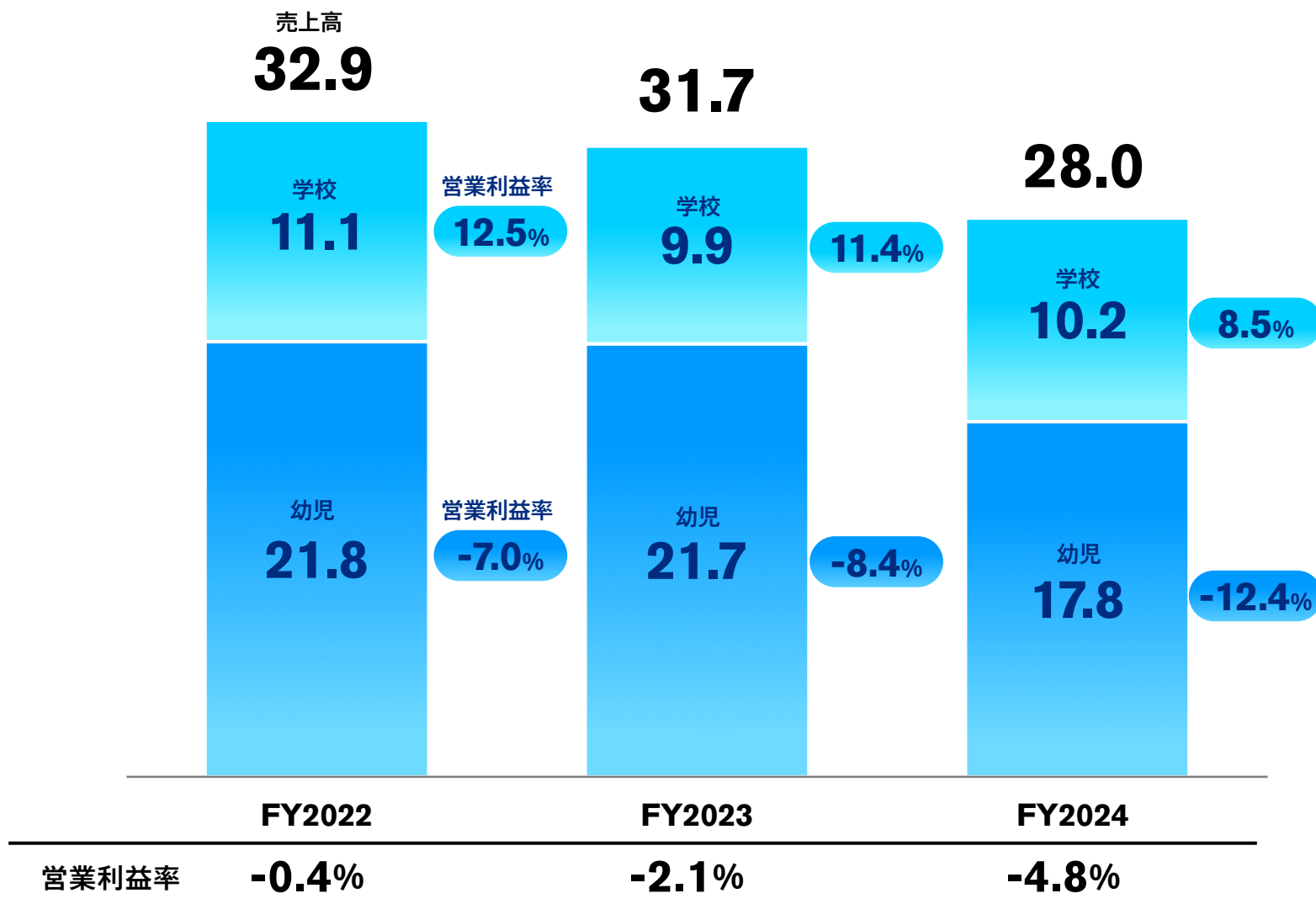
## ネガティブ要素

- ・書籍返品率は前期比で6.3%pt悪化  
前期：25.2% → 当期：31.5%
- ・既刊送品減
- ・児童書の販売低調
- ・用紙代高騰に伴うコスト増  
(約1.5億円)により原価高傾向

※単位未満は切り捨てです。

# 園・学校事業 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・園向け月刊誌堅調
- ・教科書事業と小論文添削事業が堅調に推移

## ネガティブ要素

- ・新設園減少に伴い、園向け大型遊具・備品受注が低調
- ・補助金減少、需要低迷により先生向けエプロンなどオリジナル商品の販売不振

※単位未満は切り捨てです。

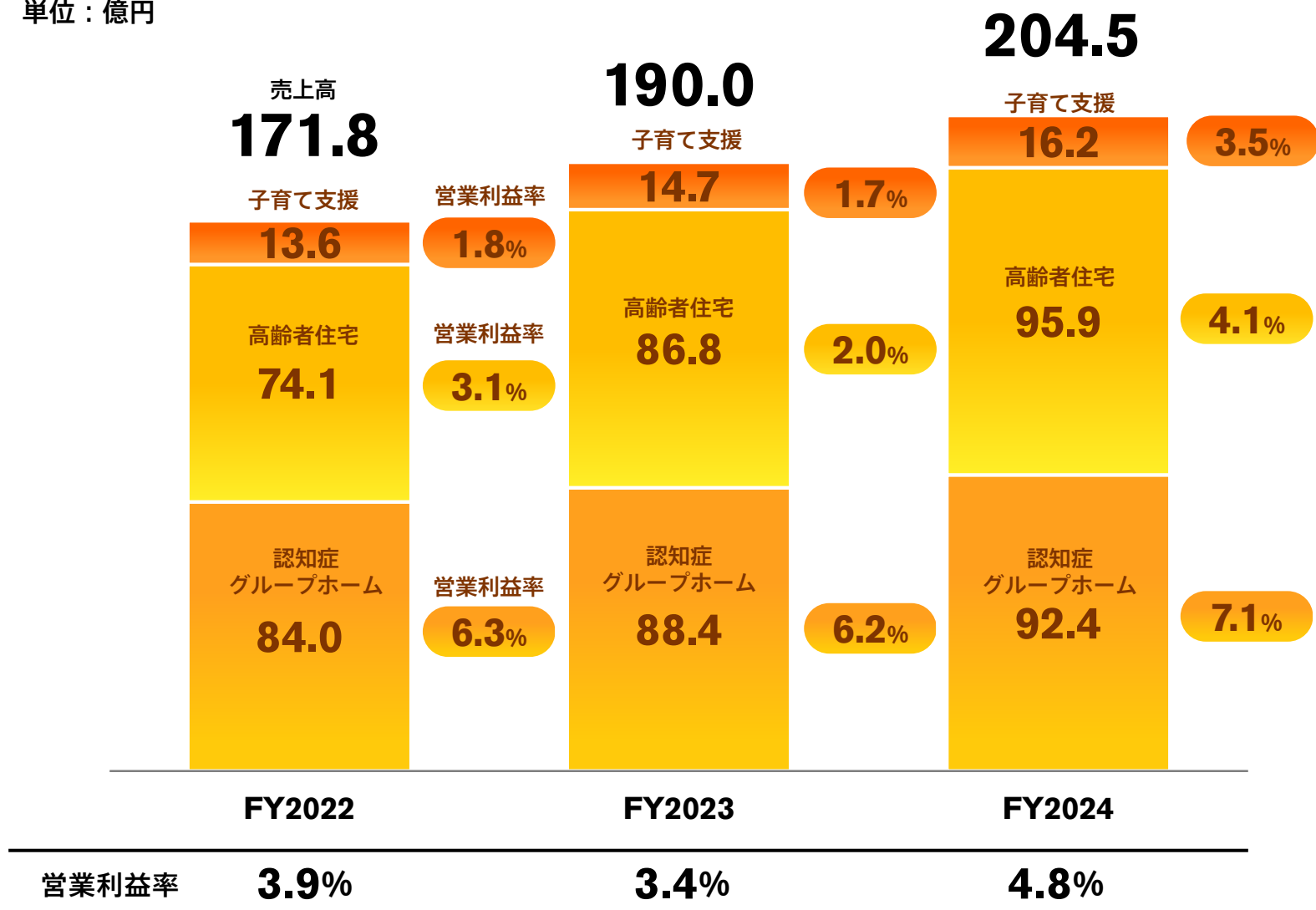
# 医療福祉分野 決算

3つの事業で少子高齢化の社会課題に挑み、多世代が安心して暮らせる街づくりを進めます。

- 1) 高齢者住宅事業 … サービス付き高齢者向け住宅、介護サービス拠点等の企画・開発・運営
- 2) 認知症グループホーム事業 …… グループホームの運営や関連サービスの企画・開発・運営
- 3) 子育て支援事業 … 保育園・子ども園・学童施設・児童発達支援施設等の企画・開発・運営

# 医療福祉分野 第1四半期決算サマリー

単位：億円



## ポジティブ要素

- ・新規開設順調  
→高齢者住宅（5事業所）  
→認知症GH（3事業所）
- ・入居率、充足率は高水準で推移  
→高齢者住宅 96.9%  
→認知症GH 96.8%  
→保育所 95.9%

## ネガティブ要素

- ・建設費高騰に伴う新規開設の先送りなど、一部オーナーの建設判断に慎重な動き
- ・食材費等物価高騰に伴うコスト増

※単位未満は切り捨てです。

※認知症グループホーム事業に含めていた(株)市進ホールディングスの介護福祉サービス事業を、教育分野の塾事業に移管しました。

# 決算補足資料

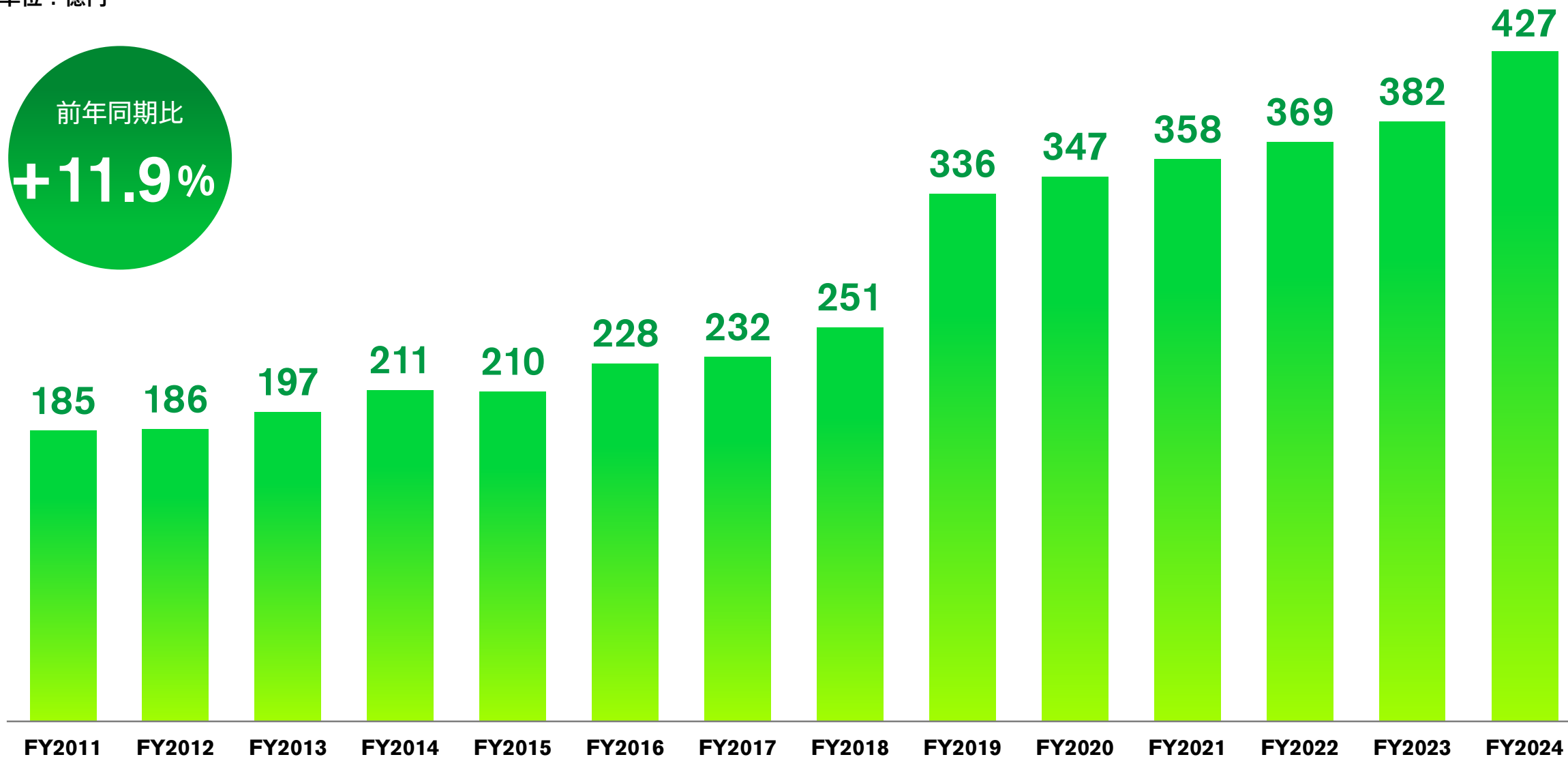
A large, vibrant green brushstroke graphic that starts from the bottom left and sweeps upwards and to the right, ending near the top right corner of the slide. It has a textured, painterly appearance with varying thickness and some white highlights.



# 第1四半期売上高推移

単位：億円

前年同期比  
**+11.9%**

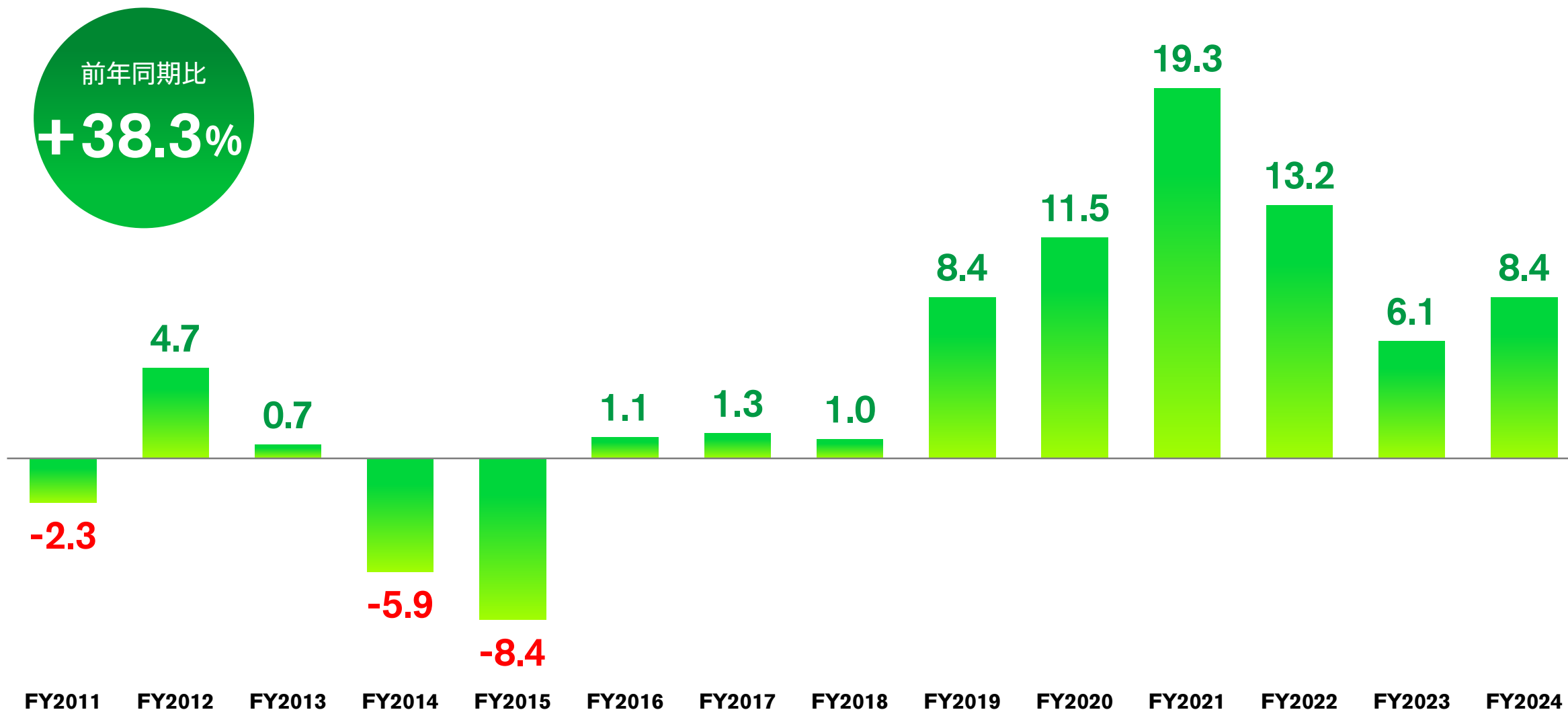


※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 営業利益推移

単位：億円

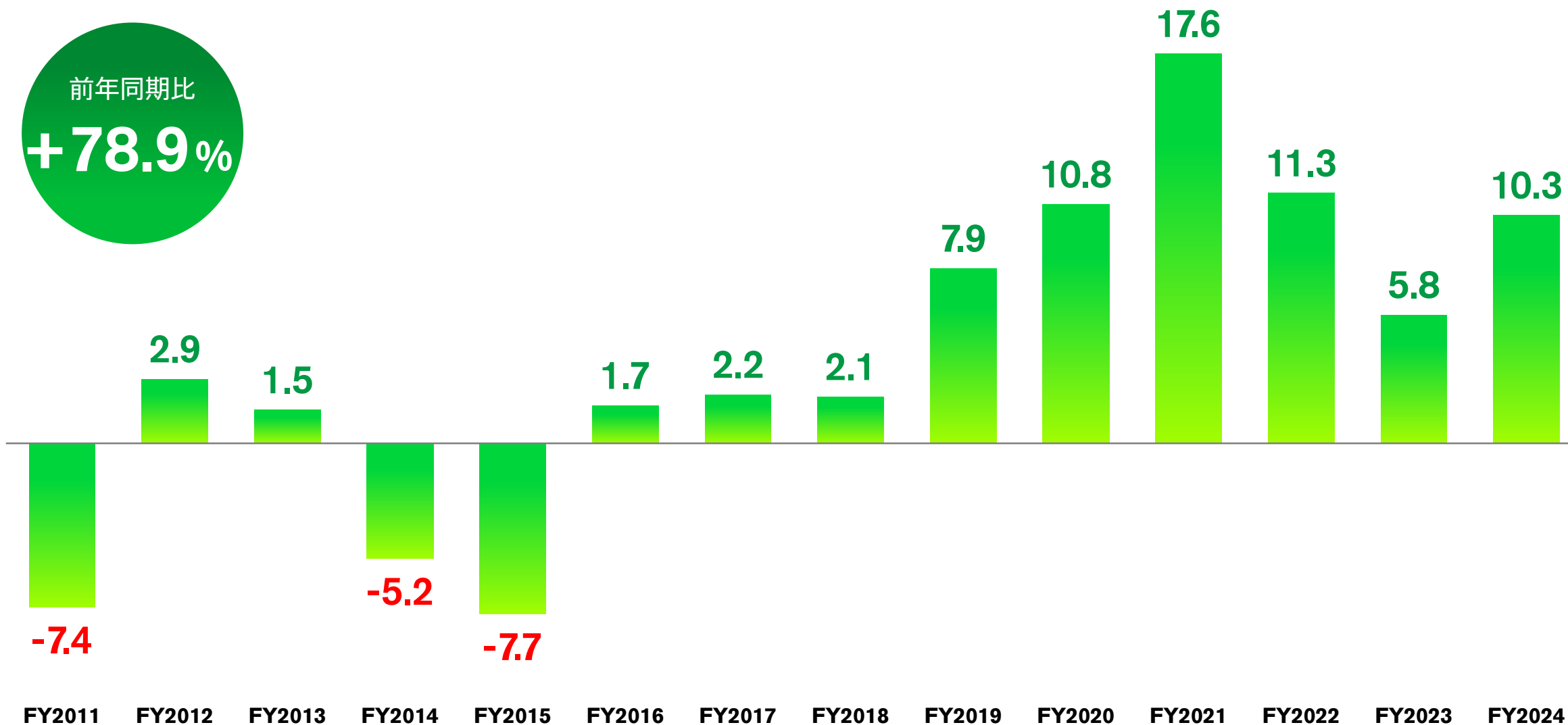
前年同期比  
**+38.3%**



※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 経常利益推移

単位：億円

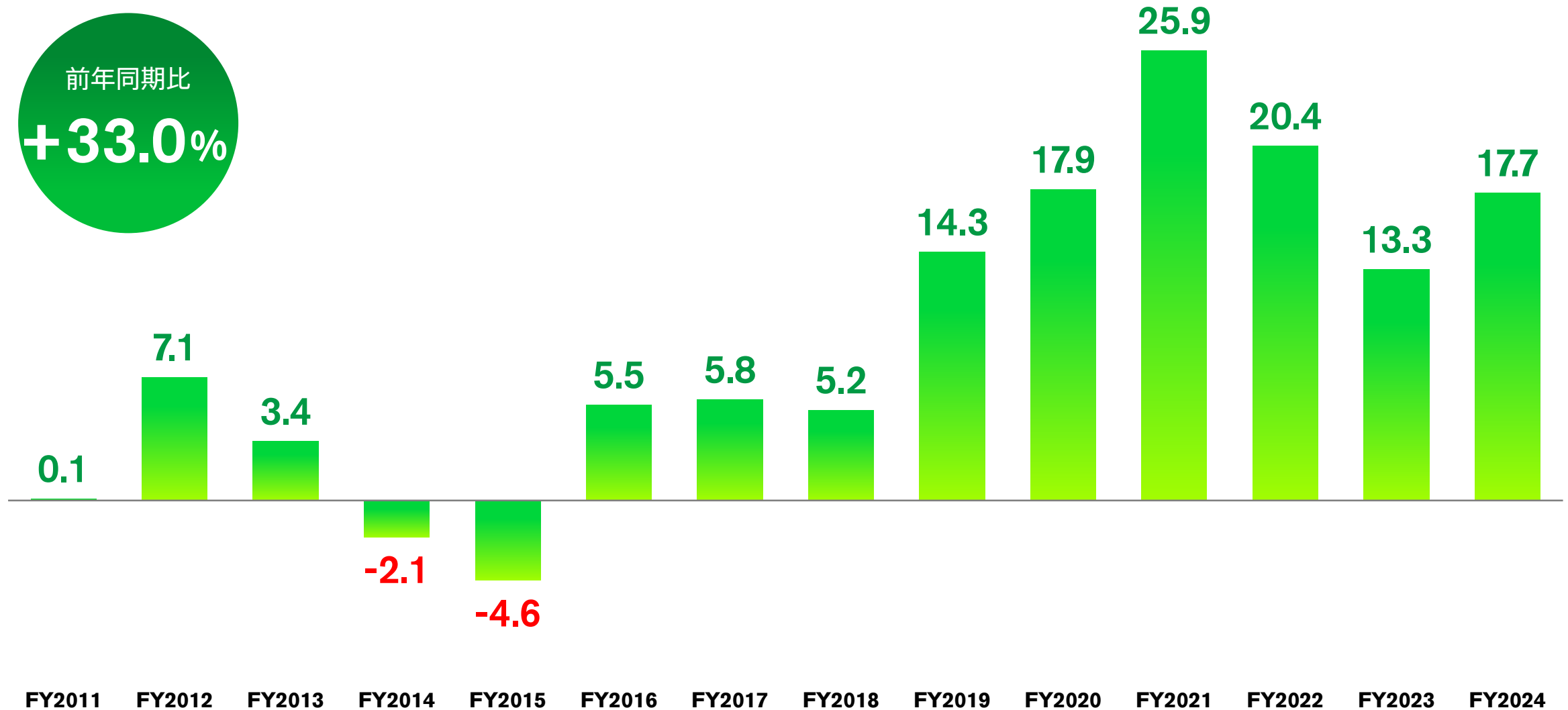


※単位未満は四捨五入です。

# 第1四半期 EBITDA 推移<sup>※</sup>

単位：億円

前年同期比  
**+33.0%**

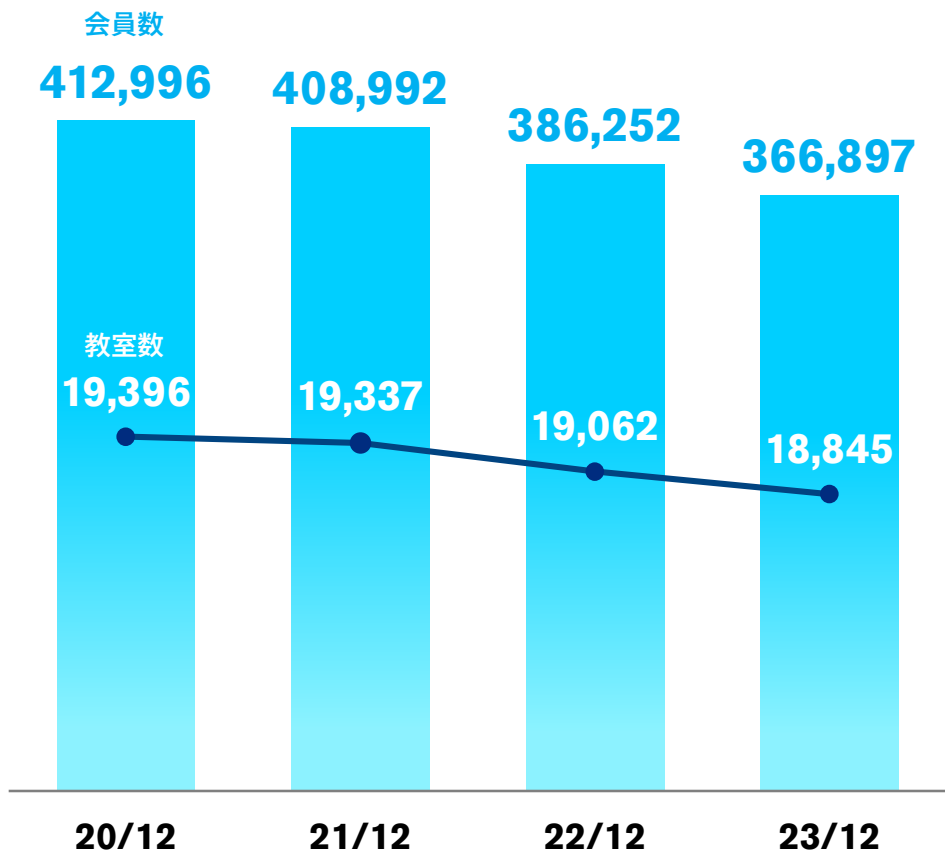


※営業利益・減価償却費・のれん償却費の合算です。単位未満は四捨五入です。

# 教室・塾事業 会員数・教室数

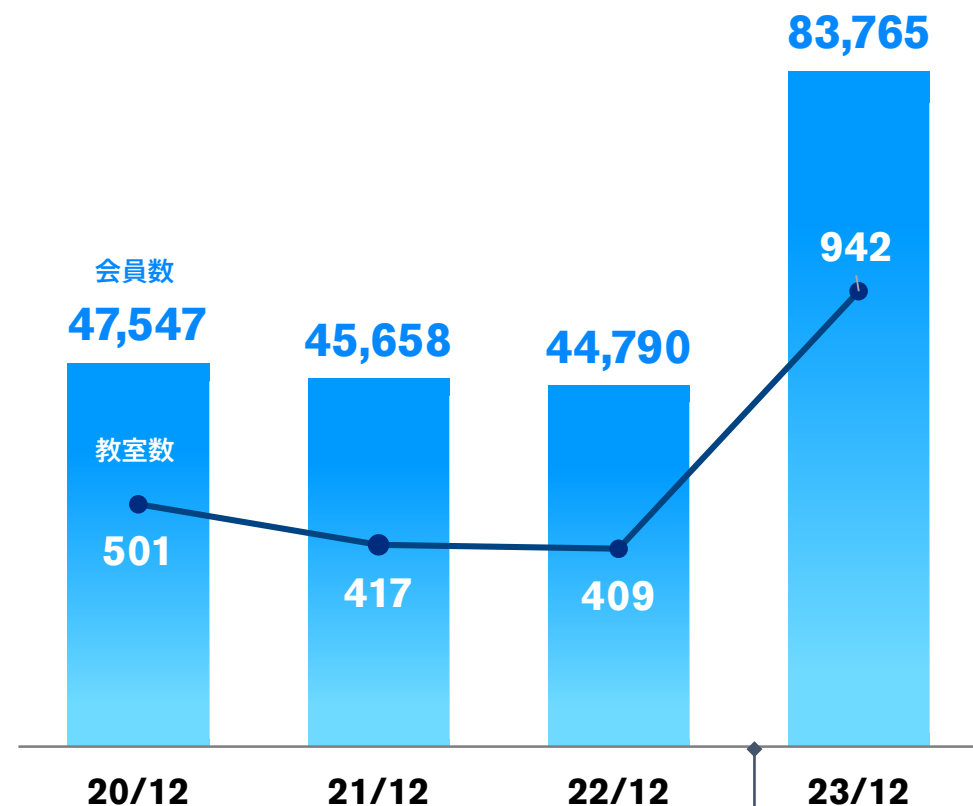
塾事業は(株)市進ホールディングスのグループインにより生徒数、教室数とも増加  
学研教室は自宅開放型が振るわず。幼児教室は新設数増加も、会員数足踏み

## 教室



※会員数、教室数は学研教室と幼児教室の合算です。

## 塾



※2023年5月に(株)エヌイーホールディングスがグループイン  
※2023年7月に(株)市進ホールディングスを連結化

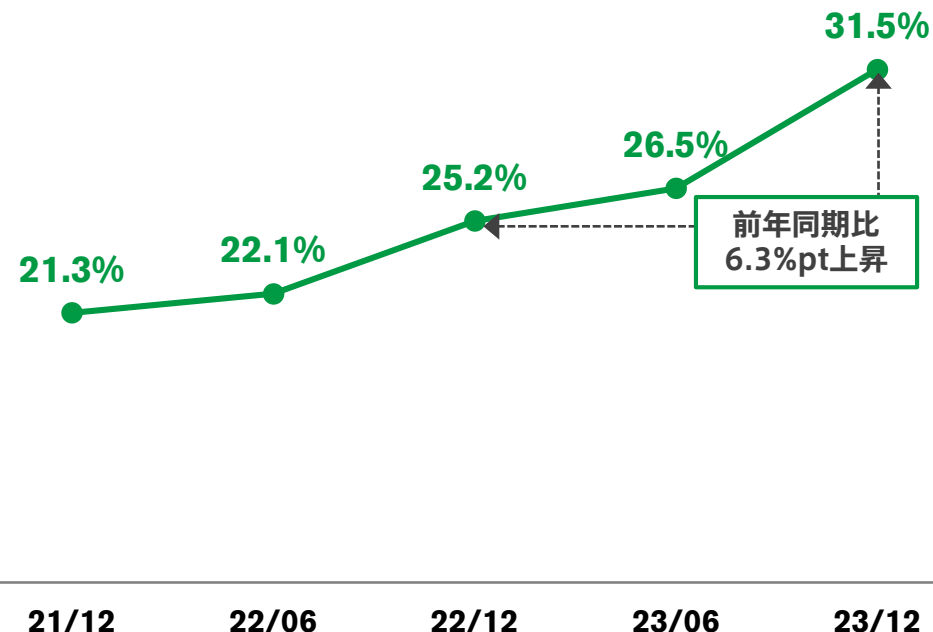
# 出版事業 書籍新刊点数／返品率

2024年の小学教科書改訂を前に学習参考書の発刊点数をコントロール。返品率は前年同期比で6.3%pt悪化

書籍新刊点数（期中累計）※

	21/12	22/12	23/12
児童書	56	46	42
学習参考書	19	27	22
実用書	40	60	40
ムック	7	6	11
その他書籍	19	24	30
合計	141	163	145

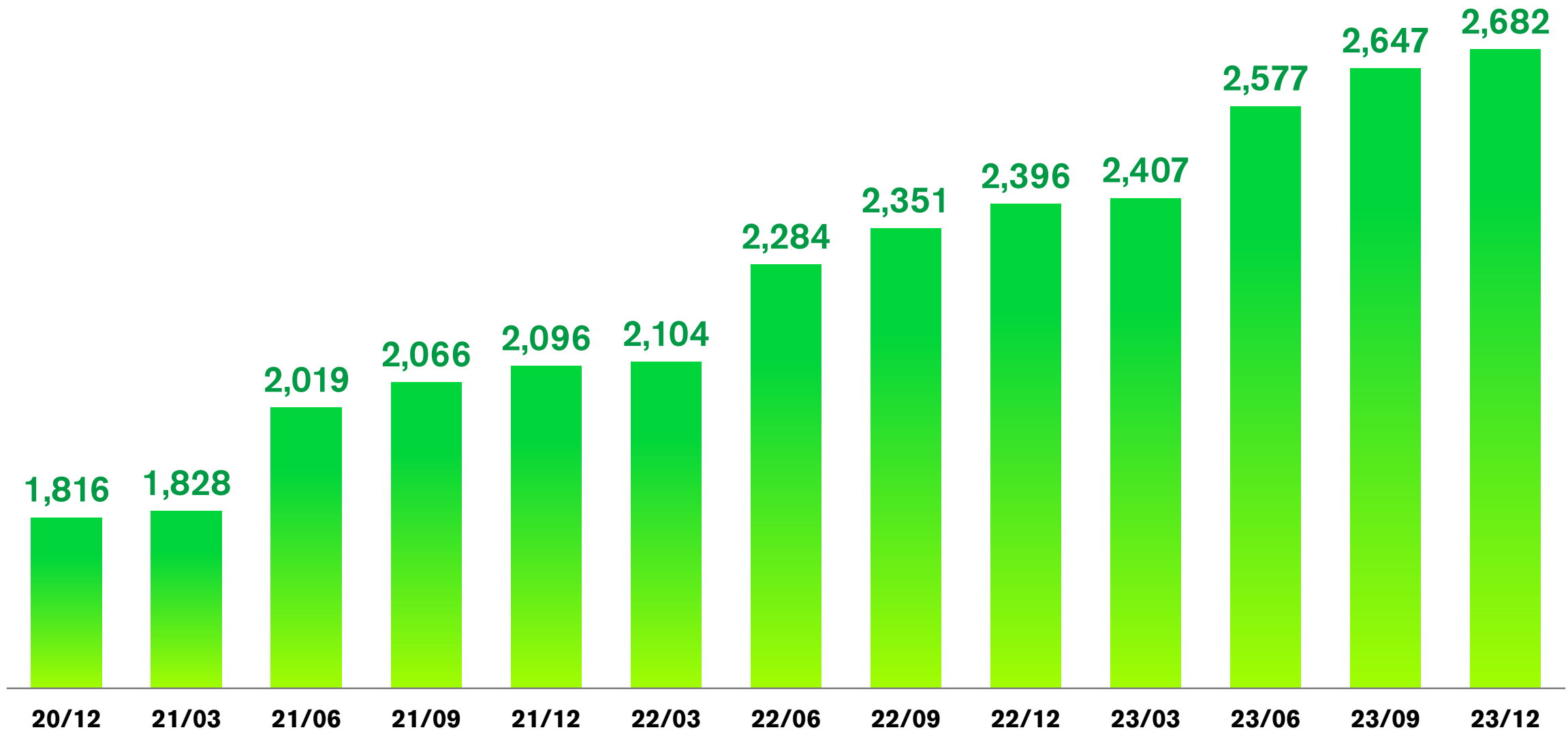
書籍返品率（期中累計）



※書籍（雑誌は含まず）発行点数及び返品率は(株)Gakken と (株)地球の歩き方の合算です。

# 語学・社会人教育事業 看護師eラーニング契約病院数

前年同期比で286病院増加。新年度利用開始に伴い3Qで大幅増となる事業特性あり



# 学校事業 教科書発行スケジュール

△ 検定：文部科学省の調査（教科書としての適正性）

● 採択：所管の教育委員会による教科書の決定

◎ 使用開始：各学校に供給し、児童生徒へ

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
小学 保健	◎		△	●	◎	
中学 保体	●	◎		△	●	◎
小学 道徳	◎		△	●	◎	
中学 道徳	●	◎		△	●	◎




# DX戦略 グループ・ダイレクト・タッチポイント

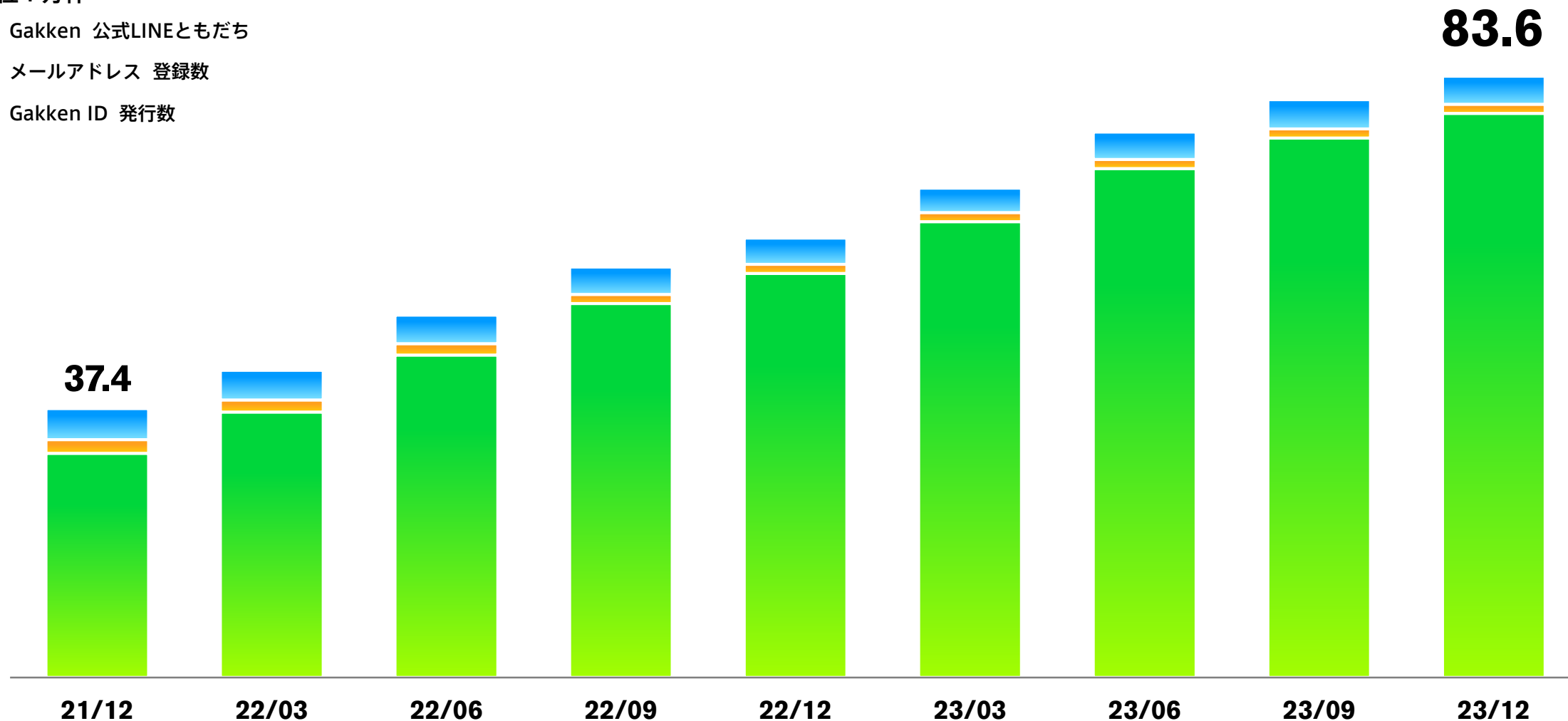
個別サービス毎のID取得は80万に到達。サービス間の連携を進め、顧客LTV向上を目指す

単位：万件

 Gakken 公式LINEともだち

 メールアドレス 登録数

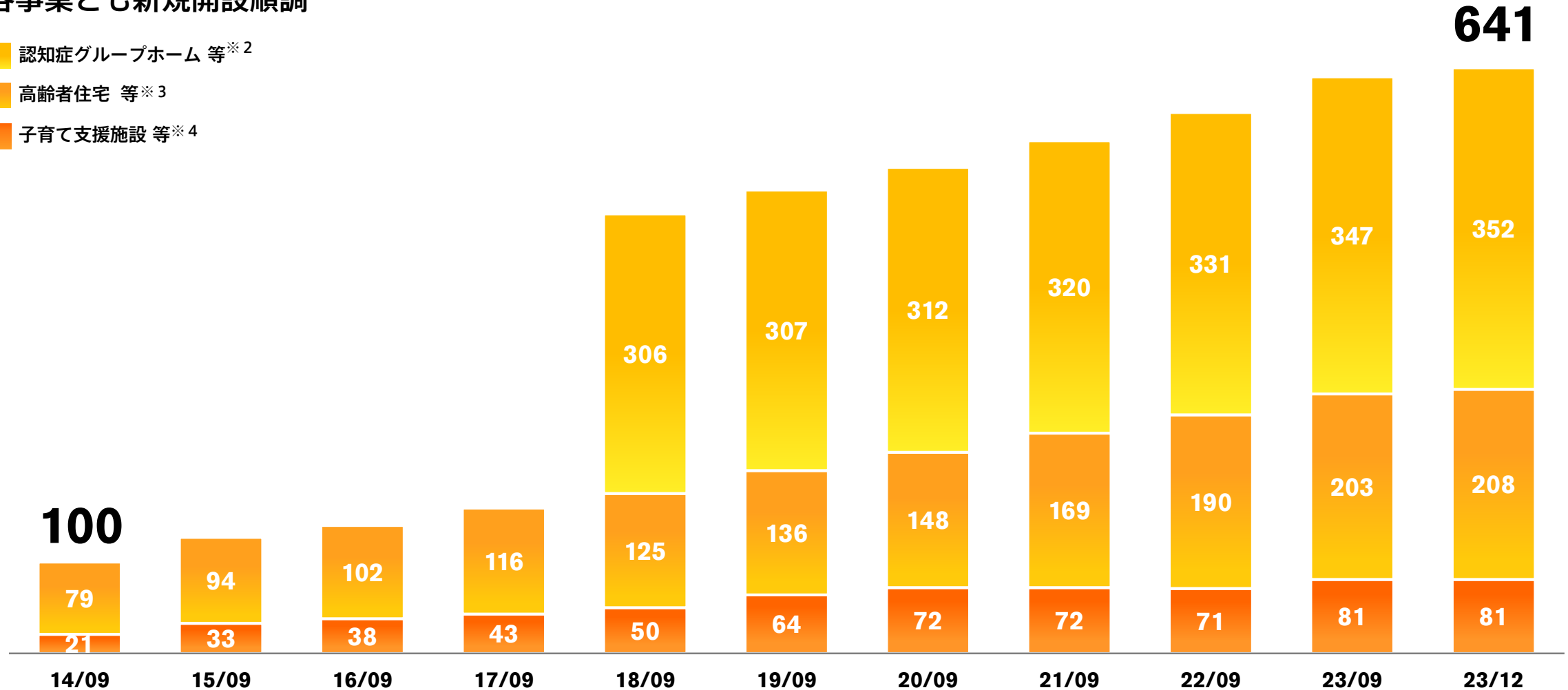
 Gakken ID 発行数



# 医療福祉分野 拠点数推移<sup>※1</sup> (FY2014~)

各事業とも新規開設順調

- 認知症グループホーム等<sup>※2</sup>
- 高齢者住宅等<sup>※3</sup>
- 子育て支援施設等<sup>※4</sup>



※1 記載の数値は新規開設数と閉鎖数の差し引きです。海外拠点を含まます。(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含まません。

※2 認知症グループホームの他に、特定施設、小規模多機能型居宅介護拠点など他区分施設を含みます。

※3 サービス付き高齢者向け住宅の他に、訪問介護ステーションなど他区分拠点を含みます。

2023年11月に事業譲受したグランユニライフケアサービス社の拠点は、当第2四半期より合算します。

※4 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

# 医療福祉分野 開設計画と進捗<sup>※1</sup>

第1四半期には高齢者住宅と認知症グループホーム合計8拠点開設。積極的な新規開設ペースを継続

単位：開設数

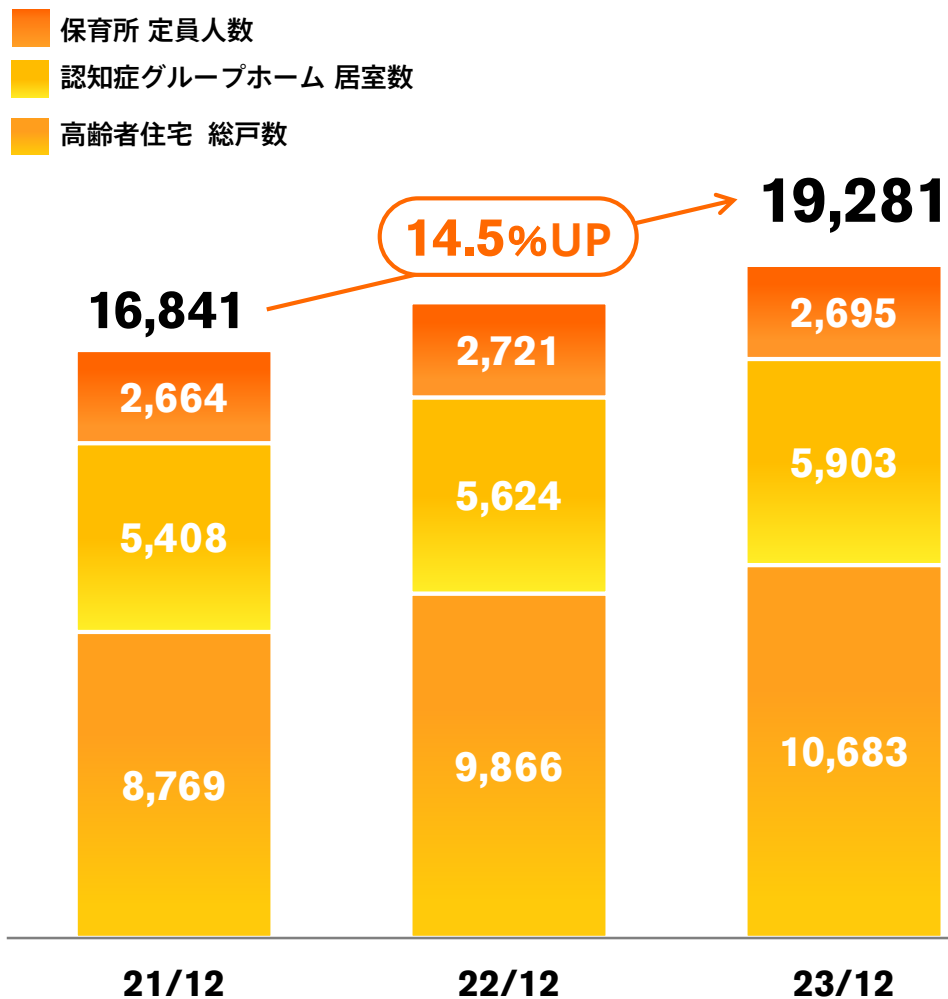
	FY2023		FY2024	
	前期 開設実績	1Q 実績	通期 計画	対通期計画 進捗
高齢者住宅	13	5 M&A1件	28	17.8 %
認知症 グループホーム	15	3 M&A1件	14	21.4 %
子育て支援施設 <sup>※2</sup>	10	0	13	0.0 %
合計	38	8	55	14.5 %

※1 国内拠点のみの数値です。同期間の閉鎖数を差し引いておりません。 ※(株)市進ホールディングスが運営する介護サービス拠点は含みません。

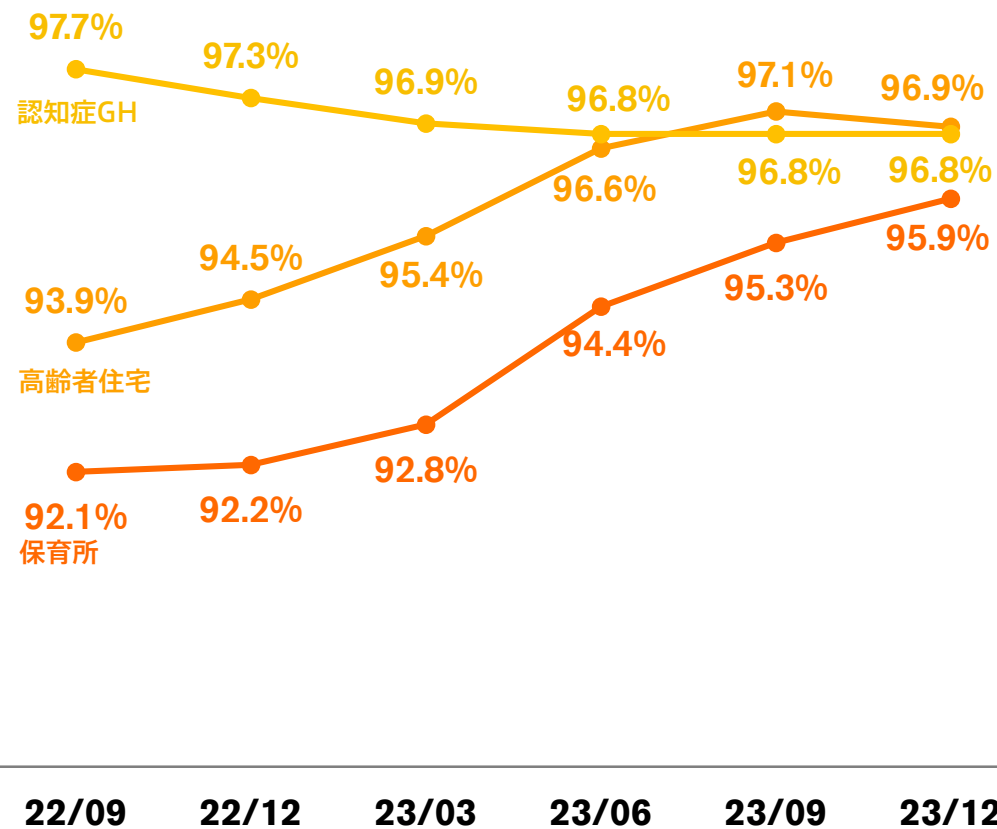
※2 保育所、学童施設、児童発達支援施設、フリースクール、学習支援施設の合算です。

# 医療福祉分野 キャパシティと稼働状況

## 総戸数・居室数・定員数推移



## 入居率・充足率推移



# 医療福祉分野 入居率・充足率

		20/09	21/03	21/09	22/03	22/09	23/03	23/09	23/12
高齢者住宅	総戸数	7,182	7,632	8,308	9,037	9,665	9,980	10,361	10,683
	入居数	6,600	6,985	7,505	8,345	9,073	9,519	10,062	10,357
	入居率	91.9%	91.5%	90.3%	92.3%	93.9%	95.4%	97.1%	96.9%
認知症 <sup>※1</sup> グループホーム	居室数 <sup>※2</sup>	5,246	5,246	5,372	5,444	5,570	5,687	5,858	5,903
	入居率	98.0%	98.0%	97.8%	97.6%	97.7%	96.9%	96.8%	96.8%
子育て支援施設	定員数 <sup>※3</sup>	2,788	2,788	2,661	2,664	2,721	2,721	2,695	2,695
	園児数	2,381	2,389	2,443	2,441	2,505	2,524	2,568	2,585
	充足率	85.4%	85.7%	91.8%	91.6%	92.1%	92.8%	95.3%	95.9%

※1 認知症グループホームの数値には、(株)市進ホールディングスが運営する介護福祉サービス事業の数値は含みません。

※2 認知症グループホームの居室数に海外および他区分施設の居室数は含まれません。

※3 子育て支援施設の定員数は保育所のみです。

今日、いくつ挑戦した？  
**Gakken**

株式会社 学研ホールディングス

本資料には、事業計画に関する記述が含まれております。こうした記述は、当資料の作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づき作成しております。従って、実際の業績がこれらの事業計画とは異なるリスクや不確定要素が存在することを予めご承知おき下さい。